

新基地建設反対名護共同センターニュース

赤嶺氏の議席守った「オール沖縄」の底力！

総選挙の結果、小選挙区の「オール沖縄」候補は1区で赤嶺政賢さんの宝の議席を守り抜くことができました。2区では新垣邦男さんが照屋寛徳さんの議席を引き継ぎ民主党の議席を守りました。いずれも保守中道から革新勢力、労働組合など市民団体が幅広く結束し、「オール沖縄」の底力を発揮した成果です。一方、3区の屋良朝博さん、4区の金城徹さんはもう一步及びませんでした。



上の写真は、赤嶺さんの「当確」が出て万歳三唱する赤嶺事務所が集まった人々（正面右から3人目が赤嶺さん）。左の写真は、「当確」の報道に喜び、カチャーシーを踊る新垣さん（中央）ら新垣事務所の人々。

新垣氏が初当選「オール沖縄」の議席守る

「我々はあきらめない」島ぐるみがスタンディング



終了後、参加者は選挙結果の感想を出し合い、「赤嶺さんが8時に当確が出てびっくりした」と喜び、「3区と4区が残念だった」との声が出され、「来年、沖縄は選挙の年。南城市や名護市の市長選など相次ぎ、秋には一斉地方選挙と知事選がある。これからが頑張り時だ」と「選挙結果に落胆せず、あきらめずに頑張り続けよう！」と確認し合いました。

「来年は選挙の年、今後も頑張ろう」
那覇市の「安里・大道・松川島ぐるみの会」は、総選挙の翌朝1日に24人の参加でスタンディングを行いました。「我々はあきらめない」「遺骨の混じった土砂を埋め立てるな」など、パネルを掲げてドライバーや通行人に訴えました。渡久地修県議（共）も参加しました。

11月6日のブルーアクション 辺野古の浜が起点

「オール沖縄会議」が呼びかける2回目のブルーアクションの予定です。

日時：11月6日（土）
午前11時～

場所：辺野古の浜

形態：「オール沖縄」の共同代表や顧問が演説し、海上行動と連帯します。YouTubeで配信します。

※各地の「島ぐるみ」がそれぞれの場所でスタンディングで連帯しましょう。
※全国草の根からスタンディングを広げましょう。

左2人目から右へ山下、岸本、稲嶺の各氏



共産党山下副委員長が岸本、稲嶺両氏と懇談
日本共産党の山下芳生副委員長が31日、名護市を訪れ名護共同センターで来年1月の名護市長選に出馬する岸本洋平名護市議と稲嶺進前名護市長と懇談しました。
渡具知武豊名護市政の評価や市民の要求、望ましい政策の在り方、新基地を中止させる展望など意見交換しました。
山下氏は「市長選では、岸本さんの当選をめざし、日本共産党は全力で支援します」と表明しました。



上は、赤嶺候補の決起集会で手づくりのパネルを掲げる女性（新都心で10月30日）。下は、ヘリ基地反対協の県庁前スタンディング（同28日）。



選挙中、要求掲げた市民の行動が広がる

今回の総選挙を通じて、これまでになく多くの市民が自らの要求を掲げて行動に立ち上がりました。
赤嶺候補の街宣では、若い女性が「ジェンダー平等」や「石炭火力原発ゼロ」などの手書きのパネルを掲げ、市民に「政権交代」を訴えました。
辺野古新基地問題では、ヘリ基地反対協が県庁前で「サンゴを殺さないで」などのパネルを掲げ、20人がスタンディングを行いました。